Kodak EasyShare
Z915 デジタルカメラ

詳細ユーザーガイド

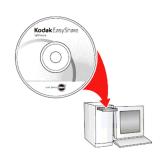
www.kodak.co.jp

■EasyShare Z915　デジタルカメラ　詳細ユーザーガイド　もくじ

0 ご使用の前に

付属品の確認

開封後、すぐに以下の付属品を確認してください。

- EasyShare Z915 デジタルカメラ 本体
- 詳細ユーザーガイド(この冊子)
- リストストラップ
- 単三形アルカリ電池 2 本
- USB ケーブル
- EasyShare ソフトウェア CD 1 枚
- 製品保証書

【付属のソフトウェア CD について】
付属の CD には、撮影した画像の表示や管理に
便利な『EasyShare ソフトウェア』が収録されていますが、
日本国内ではこのソフトウェアから利用できる一部の
機能が制限されます。

「EasyShare ソフトウェア」のインストールは必須では
ありません。必要に応じてコンピュータにインストール
してください。

カメラからコンピュータに画像を転送する方法は、
46 ページ「画像をコンピュータに転送する」を参照して
ください。

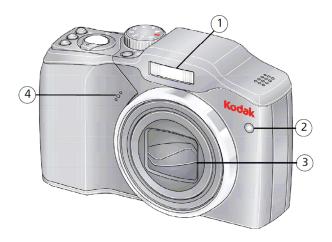
各部の名称（背面）

1 スピーカー
2 モードダイアル
3 電源ボタン
4 ズーム（望遠/広角）レバー
5 シャッターボタン
6 フラッシュモードボタン
7 フォーカスモードボタン
8 セルフタイマー/連写 ボタン

9 USB/AV 出力
3V AC アダプター 差込口
（※AC アダプターは日本国内では販売されていません）

10 ストラップ取付け部
11 Share ボタン
（※日本国内では使用できません）

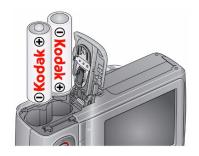
12 OK ボタン
13 操作ボタン
（削除/メニュー/情報/レビュー）

各部の名称(前面)

1 フラッシュ発光部
2 セルフタイマー/動画/AFランプ
3 レンズカバー
4 マイク

1 カメラのセットアップ

ストラップの取り付け

バッテリーの装填

※バッテリーの向きに注意してください。

■使用できるバッテリーの種類：

・単三形アルカリ電池 2 本
・単三型リチウム電池 2 本
・単三型ニッケル水素充電池 2 本

KODAK 単三形 MAX アルカリ電池： 約 150 枚
KODAKニッケル水素充電式デジタルカメラ電池： 約280枚
（スマートキャプチャーモードで128MBのSDカードを使用して撮影した場合）

※ CIPA規格に準じた測定条件による目安です。
※ 実際の電池寿命は、使用状況等によって異なります。

電源のオン／オフ

・電源ボタンを少し長めにしっかりと押します。
（電源ランプが点灯します）
・もう一度電源ボタンを押すと、電源が切れます。
Kodak

言語選択／日付と時刻の設定

【重要：必ずお読みください！】

最初に電源を入れた直後は、英語（English）の言語選択画面が表示されています。

この状態から、以下の手順で日本語表示に変更してください。

■初めて起動する時の言語設定 → 日付／時刻の設定

初めての設定では
下に 9 回押して「日本語」を選びます

① 言語選択の画面で英語（English）が表示されています。
② 十字ボタンの 下 を何回か押して 『**日本語**』 を選択し、
OK ボタンを押すと、日本語表示に変更されます。

（※ここで、すでに「**日本語**」が選択されている場合は、
そのまま OK ボタンを押すと日本語表示になります）

③ この後、以下 **「日付/時刻の設定」** の手順④～⑥を
続けて行います。

（日付/時刻の設定）

④ 各項目を 十字ボタンの 上・下 で変更します。
［ 年月日の表示順 ・ 年 ・ 月 ・ 日 ／ 時 ・ 分 ］
⑤ 十字ボタンの 右 で、となりの項目に移動します。
⑥ すべての項目を正しく入力したら、OK ボタンを押します。
（※最後に OK ボタンを押さないと、設定が有効になりません）

■日付／時刻の設定をやりなおす （日付がリセットされた時）

一度、日付／時刻の設定を行っても、バッテリーが消耗してから長期間経過したり、
バッテリーを抜いた状態で放置した場合、日付／時刻がリセットされてしまう事があります。

この場合、以下の手順で日付／時刻を設定しなおします。

① カメラの電源を入れ、メニューボタン を押します。
② 十字ボタンの 左・右 で ［**設定**］オプション に移動します。

③ 十字ボタンの 下 を何回か押して ［ **日付/時刻** ］を選択し、
　OK ボタンを押します。
④ 各項目を 十字ボタンの 上・下 で変更します。
　［ 年月日の表示順 ・ 年 ・ 月 ・ 日 ／ 時 ・ 分 ］
⑤ 十字ボタンの 右 で、となりの項目に移動します。
⑥ すべての項目を正しく入力したら、OK ボタンを押します。
　（※最後に OK ボタンを押さないと、設定が有効になりません）

SD／SDHC カード（別売）に画像を保存する

このカメラには内蔵メモリーが搭載されていますが、多くの画像を撮影するには一般的な SD カードまたは SDHC カードをお使いください。

SD または SDHC カードは一般のカメラ店、パソコン販売店、電機店などの販売店で購入できます。（※コダックブランドの SD カードは日本国内で販売されておりません）

注意：

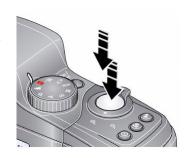
カードは正しい向きで挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。
カードの挿入や取り外しは、カメラの電源を切ってから行ってください。
電源が入っていると画像やカード、カメラが破損する場合があります。

1. カメラの電源をオフにします。
2. バッテリーカバーを開けます。
3. カードを挿入します（または取り外します）。
4. バッテリーカバーを閉じます。
5. カメラの電源をオンにします。

■SD カードの取り外し
カメラに装着された SD カードを取り外すには、カードの端の部分を指先で少し押し込んでから離すと、カードが出てきます。

2　画像の撮影

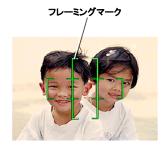
静止画の撮影

1. モードダイアルをスマートキャプチャ の位置にし、電源ボタンを押して電源を入れます。
2. 液晶画面で構図を決めます。
3. シャッターボタンを半押しするとピントと露出が設定されます。フレーミングマークがグリーンに変わったら、シャッターボタンを完全に押し込みます。

■オートフォーカスのフレーミングマークの確認

フレーミングマークは、カメラのピントが合っている場所を示します。
通常、カメラは手前にある被写体にピントを合わせます。被写体が画面の中心になくても同様です。
スマートキャプチャモードと人物撮影用のシーンモード（SCN）では、人物の顔を認識すると優先的にピントを合わせます（フェイス認識がはたらいているときは、黄色のフレーミングマークが表示されます）。

1. シャッターボタンを半押しします。
   （もし希望の場所にピントが合わなかったら、一度シャッターボタンを離し構図を少し変えてみます）
2. フレーミングマークが緑色に変わったら、シャッターボタンを完全に押し込みます。

※フレーミングマークは、動画または一部のシーンモード（遠景・夜景・花火）では表示されません。

フレーミングマーク

動画の撮影

1. モードダイアルを動画 に切り替えます。
2. シャッターボタンを押し込むと、撮影がスタートします。
   もう一度シャッターボタンを押し込むと、撮影が停止します。

※[撮影中]の表示と、赤いマークの点滅を確認してください。
撮影記録時間も表示されます。

※撮影中、マイクを指でふさがないように注意してください。

動画の再生については、27 ページをご確認ください。

撮影した画像のクイックビュー

静止画や動画を撮影した後に、液晶モニターにクイックビューが数秒間表示されます。
クイックビューをすばやく終了するには、シャッターボタンを半押しします。画像または動画は保存されます。

クイックビューで表示された画像を保存しない場合は、削除ボタン を押します。

撮影モード

被写体と撮影条件に合うモードを選択します。

撮影モード		用途
	スマートキャプチャー	通常撮影全般におすすめのモードです。 人物撮影では、人物の顔を優先して認識します。 KODAK PERFECT TOUCH が自動的に適用されます。
	スポーツ	スポーツ等、動く被写体の撮影に適しています。 早いシャッタースピードが適用されます。
	パノラマ	左→右（または右→左）に撮影された 2 枚または 3 枚の画像をつなげてパノラマ画像を作ります。（→20 ページを参照）
SCN	シーンモード	特定の状況（シーン）に応じた最適な設定で撮影する事ができます。（→15 ページを参照）
P･A･S･M	P･A.･S･M モード	これらのモードでは、スマートキャプチャより細かい設定が可能です。上級者におすすめのモードです。 （→22 ページを参照）
	動画モード	音声付の動画を撮影します。（→13 ページを参照）

シーンモード（SCN）について

シーンモードでは、特定の状況（シーン）に応じた最適な設定で撮影する事ができます。

1. モードダイアルを 「SCN」 に切り替えます。
2. 十字ボタンでお好みのシーンモードを選び、OK ボタンを押します。

シーンモード（SCN）	用途
高 ISO 感度	室内など、明るさが不足する状況での撮影に適しています。
ポートレート	人物の撮影に適しています。
夜景ポートレート	夜景をバックにした人物撮影に適しています。シャッタースピードが遅くなりますので、手ぶれに注意してください。
遠景	遠くの景色の撮影に適します。カメラのフォーカスが無限遠になるので、 フレーミングマークは表示されません。
夜景	遠距離の夜景の撮影に適しています。フラッシュは発光しません。 シャッタースピードが遅くなりますので、手ぶれに注意してください。
フラワー	花や小さい被写体のマクロ撮影に適しています。
サンセット	夕暮れ時の撮影に適しています。
逆光	逆光（被写体の後ろに光源がある状況）での撮影に適しています。
キャンドル	ろうそくのような弱い光での撮影に適しています。
マナー/美術館	美術館・講演など、フラッシュ撮影が禁止されている場所での撮影に適しています。 フラッシュと操作音はオフになります。手ぶれに注意してください。
書類	書類の撮影に適しています。手ぶれに注意してください。
ビーチ	海辺や砂浜での撮影に適しています。
スノー	雪景色の撮影に適しています。
花火	花火の撮影に適しています。三脚を使用してください。
チャイルド	動きのある子供たちの被写体に適しています。
セルフポートレート	自分自身のクローズアップ撮影に適しています。
舞台	舞台上の人物撮影に適しています。フラッシュは発光しません。 手ぶれに注意してください。

光学ズームの使用

光学ズームを使用すると、撮影時に被写体を 10 倍まで拡大できます。

1.　液晶モニターを使用して、被写体を捉えます。

2.　望遠側にするには、ズームレバーを望遠（＋）側に回します。
　　広角側に移動するには、広角（－）側に回します。

3.　撮影します。

アドバンスドデジタルズームの使用

アドバンスドデジタルズームを使用すると、静止画の撮影時に光学ズームよりさらに 5 倍まで拡大できます。

デジタルズームのオン／オフは、設定メニュー を使用します。（→44 ページをご確認ください）
※スマートキャプチャーモード、動画モードではデジタルズームを使用できません。

【注意】
デジタルズームを使用すると、画質が低下することがあります。
また、手ぶれが目立ちやすくなりますので、三脚の使用をおすすめします。

フラッシュの使用

夜間、室内、または屋外の暗い場所で撮影する場合は、フラッシュを使用します。
(フラッシュの設定ができない撮影モードもあります。)

フラッシュボタンを押すと、フラッシュ発光モードが切り替わります。
現在のフラッシュモードは液晶画面に表示されます。
(各フラッシュモードについては、下の表をご覧ください。)

■フラッシュモード ※フラッシュの届く範囲(目安): 5.4 m(広角) / 3.9 m(望遠)

オート		フラッシュが必要な明るさで自動的に発光します。
強制発光		明るさに関係なく、撮影するたびに必ず発光します。 被写体が暗い場合や「逆光」に使用します。 ※スマートキャプチャーモードでは使用できません。
赤目補正 ※赤目補正の方法は2種類のどちらかを[設定]メニューで切り替えます。		**赤目軽減プレ発光:** 目がフラッシュに慣れるように一度発光(プレ発光)し、撮影時にもう一度発光します。
		デジタル赤目補正: プレ発光はせず、赤目はデジタル補正されます。 (※まれに、目以外の赤いものを黒く補正してしまう事があります)
オフ		発光しません。 暗い場所ではシャッタースピードが遅くなります。カメラを安定した場所に置くか、三脚を使用することをお勧めします。

フォーカスボタンの使用

フォーカスボタンを押すと、フォーカスモードが切り替わります。
現在のフォーカスモードは液晶画面に表示されます。
（各フォーカスモードについては、下の表をご覧ください。）

※スマートキャプチャーモードでは設定できません。

1. フォーカスボタンを押して、モードを切り替えます。
2. シャッターボタンを**半押しして**ピントと露出を合わせます。その後、**完全に押し込んで**撮影します。

■フォーカスモード

モード		用途
（アイコンなし）	AF（オートフォーカス）	通常の撮影に適しています。
	無限遠	遠距離の風景などの撮影に適しています。
	マクロ	被写体とレンズの距離が近い時（約 12～60 cm）の撮影に適しています。

セルフタイマーの使用

自分も一緒に写りたい時、シャッター操作による手ぶれを軽減したい時は、セルフタイマーを使用します。平らな場所や三脚などにカメラを固定してください。
(※カメラを三脚に固定するときは、[設定]メニュー で手ぶれ補正をオフにしてください)

1. セルフタイマー／連写ボタン を何回か押して、設定を選択します。

- **10 秒** ： 10 秒後にシャッターが切れます。
- **2 秒** ： 2 秒後にシャッターが切れます。
- **2 ショット** ： 10 秒後に 1 回目、さらに 8 秒後に 2 回目のシャッターが切れます。

2. 構図を決め、シャッターボタンを押して撮影します。
   ※パノラマモードでは、「2 ショット」のセルフタイマーは選択できません。

連写の使用

連写モードでは、最大 3 枚まで連続でシャッターを切ることができます。
※ポートレート・夜景ポートレート・夜景・逆光・花火・パノラマ の各モードでは連写は使用できません。

1. セルフタイマー／連写ボタン を何回か押して、液晶画面に連写アイコン を表示させます。
2. シャッターボタンを**半押しした状態**で、ピントを合わせて露出を設定します。
3. シャッターボタンを**完全に押しこんだまま**にして撮影します。
   シャッターボタンが押されている間に最大 3 枚の静止画が撮影されます。

パノラマ撮影

パノラマ機能は、連続して撮影された 2 枚もしくは 3 枚の画像をステッチ(つなぎあわせ)して、ワイドな画像を完成させます。

1. モードダイアルを回して、パノラマ ◀[ ]▶ の位置にします。
2. 十字ボタンの 左・右 で [**パノラマ(左→右)**] または [**パノラマ(右→左)**]を選択し
   (撮影する方向によって異なります)、OK ボタンを押します。
3. 1 枚目の画像を撮影します。
   液晶モニターには、クイックビューが表示された後、ライブビューと 1 枚目の画像の「オーバーレイ」が表示されます。
4. 2 枚目の構図を決めます。1 枚目の画像のオーバーレイが、2 枚目の画像の同じ位置に重なるようにします。
   (1 枚目の撮影をやり直す場合は、削除(ゴミ箱)ボタンを押します)。
5. 撮影を 2 枚でやめる場合は、OK ボタンを押すと、画像のステッチ処理が開始します。
   3 枚撮影すると、画像は自動的にステッチされます。クイックビューは約 5 秒間液晶モニターに表示されます。

2枚または3枚を
続けて撮影します。

カメラ内で自動的に
ステッチされ、一枚の
パノラマ画像になります。

内蔵ヘルプ機能

カメラにはヘルプ機能が内蔵されています。
各メニューの機能について、いつでもヘルプを見ることができます。

1. メニューボタン を押し、
   [撮影]メニュー または
   [設定]メニュー を選びます。
2. 十字ボタンの上下で各機能を選択し ボタンを押すと、その機能の説明が表示されます。

P･A･S･M モード

P･A･S･M の各モードは、さらにカメラの細かい設定を行いたいときに使用します。

モード	用途	設定できる項目
P	**プログラムモード**: すべてのメニューオプションを利用したオート撮影を簡単に行うことができます。 シャッタースピードと絞り(F 値)は、撮影状況に応じて自動的に設定されます。	露出補正 (→カメラに取り込む光の量) フラッシュ補正 ISO 感度
A	**絞り優先モード**: あらかじめ絞り(F 値:被写界深度=ピントの合う前後の範囲)を設定すると、適切なシャッタースピードが自動的に設定されます。 絞り設定は、光学ズームによって変化することがあります。	絞り 露出補正 フラッシュ補正 ISO 感度
S	**シャッター優先モード**: シャッタースピードを設定すると、適切な絞りが自動的に設定されます。動きのある被写体の撮影時に便利です。 (遅いシャッター速度を使用する場合は、ぶれが生じないよう三脚を使用してください)	シャッタースピード フラッシュ補正 ISO 感度
M	**マニュアルモード**: 絞り、シャッタースピード、フラッシュ補正、ISO 感度すべてを手動で設定できます。写真を熟知した上級者の方にお勧めします。 (遅いシャッター速度を使用する場合は、ぶれが生じないよう三脚を使用してください)	絞り シャッター速度 フラッシュ補正 ISO 感度

【注意】 P、A、S、M モードの設定は、モードを変更した場合やカメラの電源をオフにした場合も保持されます。
P、A、S、M モードを出荷時設定に戻すには、[カメラのリセット] (→45 ページを参照)を使用します。

P、A、S、M モードの設定について

P、A、S、M モードは、絞り(F 値)、シャッター速度、露出補正、フラッシュ補正、ISO 感度を設定できます。その他の設定はメニューボタン で変更します。

1. モードダイヤルを回して P、A、S、または M の位置にします。

2. 十字ボタンの 左・右 で設定を選択し、上・下 で設定を変更します。

絞り(F 値)： 絞り値(被写界深度＝ピントの合う前後の範囲)を設定します。
・絞り値が小さいほど、被写界深度(ピントの合う前後の範囲)が狭く、周辺がボケます。
・絞り値が大きいほど、被写界深度が広く、手前から奥までピントが合います。

シャッター速度： シャッタースピードを設定します。シャッタースピードが遅い場合は三脚を使用してください
露出補正： 露出を調整します。 画面が明るすぎる場合は値を低く、暗すぎる場合は高く設定してください。
フラッシュ補正： フラッシュの発光量を調節します。
ISO： 光に対するカメラの感度を調整します。 ISO が高く設定されるほど感度が高くなります。
※ISO が高いと、ノイズが目立つことがあります

露出補正を使って明るさを調整する

P、A、S モードとパノラマモードでは、撮影前に露出補正を調整してお好みの明るさで撮影することができます。 パノラマモードでは、1 枚目の設定した補正値が 2 枚目以降の画像にも適用されます。

1. 十字ボタンの 左・右 を押して、露出補正の項目を選択します。
2. 十字ボタンの 上 を押すと、露出補正の値が大きくなります（プラス：明るくなる）。
   十字ボタンの 下 を押すと、露出補正の値が小さくなります（マイナス：暗くなる）。

露出補正の値は液晶画面に表示されます。露出補正は+/−2.0 絞りまで設定できます。

測光ブラケティングの使用

測光ブラケティングを設定すると、現在の露出値を基準に露出を変えた3枚（アンダー・標準・オーバー）を連続して撮影します。露出の変化幅は ［撮影］ メニューで設定できます。（→40 ページを参照）

※測光ブラケティングを設定すると、フラッシュはオフになります。

ヒストグラムで露出を確認する

撮影中に静止画のヒストグラム（画像の明るさ分布）を確認できます。
ヒストグラムの中央部分にピークがある状態が、最適な露出になります。

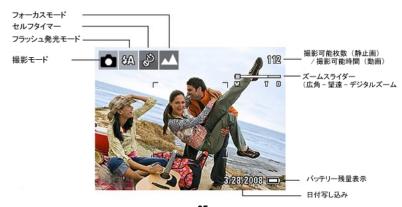
1. あらかじめ［撮影］メニューで「ライブビューヒストグラム」をオンにしておきます（→41 ページを参照）。
2. 撮影モードで、情報ボタン ⓘ を押して、ヒストグラムを表示させます。

暗い画像

バランスの取れた画像

明るい画像

撮影時のアイコン表示について

（※機能説明のため、すべてのアイコンを表示しています）

3 画像の再生・編集

画像の再生

レビューボタン ▶ を押すと、撮影した画像の再生や編集ができます。
レビューボタンをもう一度押すと、レビューを終了します。

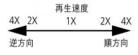
1. レビューボタン ▶ を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で前／次の画像に移動します。
   （3:2 または 16:9 で撮影された画像は、上下に黒いフチが出ます）

- レビューボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

画像の拡大表示

1. レビューボタン ▶ を押します。
2. レビューモードで望遠（＋）側にレバーを回すと、2倍～8倍まで拡大表示できます。
3. 十字ボタンで、画像の表示したい部分を動かします。

- OK ボタンを押すと、画面全体の表示に戻ります。
- 広角（－）側にレバーを回すと、サムネイル表示になります。（→29 ページを参照）

動画の再生

1. レビューボタン ▶ を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で再生する動画を選びます。
3. OK ボタンを押すと、動画が再生されます。

4. 十字ボタンの 上・下 で音量を調整します。

- 再生中に 右 を押すと、2倍速で再生されます。
  → もう一度押すと4倍速になります。

- 再生中に 左 を押すと、2倍速で逆方向に再生されます。
  → もう一度押すと4倍速になります。

画像の削除

1. レビューボタン ▶ を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で削除したい画像を選びます。
3. 削除ボタン 🗑 を押します。
4. 画面の指示にしたがって操作します。

削除の取り消し機能

画像を誤って削除した場合、その直前の1コマに限り、削除を取り消して復元することができます。
十字ボタンの 上・下 で ［**削除の取り消し**］ を選択し、OK を押します。

画像の保護

大切な画像を誤って削除しないように保護することができます。

1. レビューボタン を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で保護したい画像を選びます。
3. メニューボタン を押します。

4. 十字ボタンの 上・下 で **［画像の保護］** を選択し、OK ボタンを押します。
   保護された画像には鍵のマーク がつきます。もう一度 OK ボタンを押すと、保護が解除されます。
5. メニューボタン を押して、メニューを終了します。

フォーマット（初期化）を行うと、保護された画像を含むすべての画像が削除されます。

画像のサムネイル表示

画像をサムネイル形式で表示する事ができます。

1. レビューボタン ▶ を押します。画面には最後に撮影した画像が表示されます。
2. ズームレバーを広角（－）側に回すと、サムネイル表示になります。
   もう一度広角（－）に回すと、さらに小さなサムネイル表示になります。

   サムネイル画面では「お気に入り」「日付」「タグ付きの画像」を
   それぞれのタブに分けて整理できます。

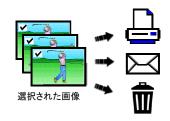
3. ズームレバーを望遠（＋）側に回すと、画像の 1 枚表示に戻ります。
   レビューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

複数画像の選択

複数の画像をまとめてプリントしたり削除する場合は、複数選択機能を使います。
複数選択機能は、サムネイル表示とあわせて使うと便利です。

1. レビューボタン ▶ を押し、十字ボタンの
   左・右　で画像を選択します。

2. OK ボタンを押すと、その画像の左側にチェック
   マークが表示され、選択対象になります。

選択した画像はまとめてプリントしたり、削除する
ことができます。選択を解除するには、もう一度
OK ボタンを押すとチェックマークが消えます。

レビューモードの操作オプション

1. レビューボタン ▶ を押し、その後、メニューボタン を押します。

2. 上にある3つのタブを、十字ボタンの 左・右 で選択します。

 ・［再生］ ▶ **オプション** → 画像の選択・保護・プリント指定 などを行います

 ・［編集］ **オプション** → 画像のトリミング・コピー などを行います

 ・［設定］ **オプション** → カメラ本体の設定を行います

3. OK ボタンを押すと、その項目に入ります。
4. 各項目を設定し、OK ボタンを押します。

KODAK PERFECT TOUCH テクノロジー

KODAK PERFECT TOUCH テクノロジーを使用すると、撮影後の画像をより明るく補正できます。
（スマートキャプチャモードでは、撮影時に自動で PERFECT TOUCH テクノロジーが適用されます）

1. レビューボタン ▶ を押し、十字ボタンの 左・右 で補正したい画像を選びます。

2. メニューボタン を押します。
   左・右 ボタンで ［**編集**］オプション を選択します。

3. 上・下 ボタンで ［**PERFECT TOUCH テクノロジー**］ を選択し、OK ボタンを押します。
   適用前・後の画像が左右に分割して表示されます。 左・右 ボタンで画像の他の部分を見ることができます。

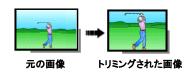
4. OK ボタンを押します。
   画面の指示にしたがって、補正した画像を新規に保存するか、元の画像と置き換えるかを選択します。

   ※パノラマ画像と動画には、PERFECT TOUCH テクノロジーを使用できません。
   ※スマートキャプチャーモードで撮影された画像、およびすでに補正されている画像に再度、補正をかけることはできません。

画像のトリミング

画像の不要な部分をトリミングして、必要な部分だけを切り取ることができます。

1. レビューボタン を押し、十字ボタンの 左・右 で画像を選びます。
2. メニューボタン を押し、左・右 ボタンで ［**編集**］オプション を選択します。
3. 十字ボタンの 上・下 を押して ［ **トリミング** ］ を選択し、OK ボタンを押します。
4. 十字ボタンの 上・下・左・右 でトリミング枠を動かします。 ズームレバーを＋／－方向に動かし、トリミングの枠を拡大／縮小します。トリミング範囲を設定したら、OK ボタンを押します。
5. **「トリミングされた画像を保存しますか？」** と表示され、[**はい**]と[**いいえ**]の選択画面が表示されます。
そのまま OK ボタンを押すと、トリミングした画像を保存します。
トリミングした画像は元の画像とは別に保存されます。

元の画像　　**トリミングされた画像**

音声メモを付ける

最長 1 分間の音声やメッセージを画像に追加できます。
(※各画像に一つずつ。動画には追加できません。)

■音声メモの録音

1. レビューボタン ▶ を押し、十字ボタンの 左・右 で画像を選びます。
2. メニューボタン を押し、左・右 ボタンで [**編集**] オプション を選択します。
3. 十字ボタンの 上・下 で [**音声メモ**] を選択し、OK ボタンを押します。
4. 十字ボタンの 上・下 で [**録音**] を選択し、OK ボタンを押します。
5. [**録音**]を選択し、OK ボタンを押すと録音を開始します。
   もう一度 OK ボタンを押すと録音が終了し、音声メモが画像に適用されます。

■音声メモの再生

1. レビューボタン▶ を押し、十字ボタンの 左・右 で音声メモのついた画像を選びます。
2. OK を押すと、サウンドタグ(音声メモ)を再生します。
3. 十字ボタンの 上・下 で、音量を調整します。
4. 再生中に OK ボタンを押すと、停止します。

※画像を削除すると、音声メモも削除されます。

画像のコピー

内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、画像をコピーすることができます。

■コピーの前にご確認ください

・SD カードがカメラに正しく装着されていることを確認します。
・カメラの「画像保管場所」がコピー元の場所に設定されていることを確認します。
（※「画像保管場所」については、45 ページをご確認ください）

■画像をコピーする方法

1. レビューボタン を押し、メニューボタン を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で **[編集]**オプション に移動します。
3. 十字ボタンの 上・下 で **[コピー]** を選択し、OK ボタンを押します。
4. **「メモリーカードへコピー」**（または内蔵メモリーへコピー）の画面で、以下のいずれかを選択します。

- **この画像**： 今表示されている画像をコピーします。
- **すべて**： 現在の画像保管場所（カード/内蔵メモリー）にある、すべての画像をコピーします。
- **選択済みすべて**： 選択された画像すべてをコピーします。
  （※「選択済みすべて」は、レビューモードで選択された画像が複数ある時だけ表示されます）

5. OK ボタンを押すとコピーが開始します。コピーが終了するまでお待ちください。

【ご注意】 画像は「移動」ではなく「コピー」されます。
コピー元の画像が必要でなければ、コピー先の画像を確認してから、これらを削除してください。
※プリント指定、画像の保護などの設定はコピーされません。

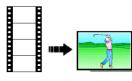
動画の編集

■動画から静止画を作成する

動画からフレームを1つ選択して、静止画を作ることができます。

動画　切り取った静止画

1. レビューボタン を押して、十字ボタンの 左・右 で編集する動画を選びます。
2. メニューボタン を押し、十字ボタンの 左・右 で[編集]オプション を選択します。
3. 十字ボタンの 下 を押して [**静止画作成**] を選択し、OK ボタンを押します。
4. OK を押して動画を再生し、希望の場所で再度、OK を押します。
5. 画面の指示にしたがって、作成された静止画を保存します。（元の動画はそのまま残っています）。

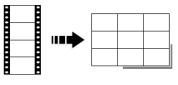
- メニューボタン を押して、メニューを終了します。

■動画のトリミング

動画の最初や最後の不要な部分をトリミングして、必要な部分だけを保存できます。

1. レビューボタン を押して、 十字ボタンの 左・右 で動画を選びます。
2. メニューボタン を押し、左・右 ボタンで [編集]オプション を選択します。
3. 十字ボタンの 上・下 を押して [**トリミング**] を選択し、OKボタンを押します。
4. 画面の指示にしたがいます。必要に応じて早送りと巻き戻しを使用します。
5. トリミングされた動画を元の動画と別に保存するか、元の動画と置き換えるかを選択し、OKボタンを押します。

- メニューボタン を押して、メニューを終了します。

■動画アクションプリントの作成

動画を使用して、4分割／9分割／16分割の画像を作成できます。
（プリントサイズは、はがきサイズまでをおすすめします）

1. レビューボタン ▶ を押し、十字ボタンの **左・右** で動画を選びます。
2. メニューボタン を押し、**左・右** ボタンで[**編集**]オプション を選択します。
3. 十字ボタンの **上下** で [**アクションプリント**] を選択し、OK ボタンを押します。

・オート（16/9/4 フレーム）：
先頭フレームと最終フレームの選択が自動的に行われ、その間のフレームが等間隔に分割されます。

・マニュアル（16/9/4 フレーム）：
先頭フレームと最終フレームを選択すると、その間のフレームが等間隔に分割されます。

・フルマニュアル（16/9/4 フレーム）：
すべて指定したフレームで分割します。

・ Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

TV で画像を表示する

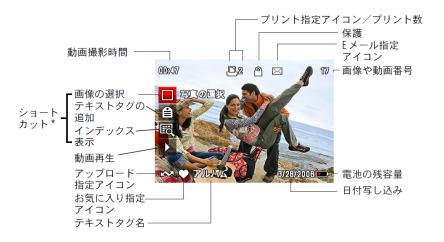
オーディオ／ビデオケーブルを使用して、TV またはビデオ入力端子のついている機器にカメラを接続し、画像を表示することができます。

カメラを TV に接続するには、別売りの AV ケーブルを使用します。
（※販売店では取り扱っておりません。ご購入についてはコダックお客様相談センターにお問い合わせください。）

① カメラの電源をオフにします。
② AV ケーブルを接続します。
③ カメラの電源をオンにします。
④ 画像やスライドショーを TV に表示します。

ご注意：
AV ケーブルの接続と取り外しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。
電源をオンにしたまま行うとカメラが故障したり、記録された画像やメモリーカードが破損する事があります。

レビューモードのアイコン表示

（※機能説明のため、すべてのアイコンを表示しています）

4 カメラのさまざまな利用方法

カメラのカスタマイズ

よりよい撮影結果を得るために、カメラの設定を変更することができます。
（注意：設定には、変更するまで保持されるものと撮影モードを変更したりカメラの電源をオフにすると元に戻るものがあります。モードにより設定に制限があります。）

1. メニューボタン を押します。
2. 十字ボタンの 左・右 で タブを選択します。

・[撮影] メニュー → 画像サイズなど、撮影に関する設定を行います。

・[設定] メニュー → カメラ本体の機能設定を行います。

3. 設定する項目を選び、OK ボタンを押します。
4. 設定値を変更し、OK ボタンを押します。

・[撮影] メニュー で設定できる項目

測光ブラケティング ブラケッティング撮影時の露出の変化幅を設定します。 (※P、A、M モードのみ)	**オフ**: ブラケティング撮影を行いません(通常撮影)。 +/− 0.3EV: 現在の露出を中心として、1/3 絞り刻みで 3 枚連続撮影します。 +/− 0.7EV: 現在の露出を中心として、2/3 絞り刻みで 3 枚連続撮影します。 +/− 1.0EV: 現在の露出を中心として、1 絞り刻みで 3 枚連続撮影します。
ホワイトバランス 光源の状態を設定します。 (※P、A、S、M モードとパノラマモードのみ)	**オート**: 自動でホワイトバランスが補正されます。 **昼光**: 自然光での撮影に適します。 **白熱灯**: 白熱電灯の下でフラッシュを使用しない場合、黄色っぽく写るのを補正します。 **蛍光灯**: 蛍光灯の下でフラッシュを使用しない場合、緑っぽく写るのを補正します。 **晴天日陰**: 自然光を利用した日陰での撮影に適します。
画像サイズ 画像の解像度を設定します。	10.0MP (4:3): 最高の解像度です。大きいプリントに適します 8.9MP (3:2): 高解像度です。大きいプリントに適します 7.5MP (16:9): 高解像度のハイビジョン比率画面(16:9) 5.0MP (4:3): 標準的なサイズ 3.1MP (4:3): 標準的なサイズ 2.2MP (3:2): ホームプリント(主に L サイズ)向き 2.1MP (16:9): ハイビジョン比率(16:9) 1.2MP (4:3): E メール・ホームページなど(プリントには適しません)
動画サイズ 動画の解像度を設定します。 (※動画モードのみ)	640 x 480 (VGA) 320 x 240 (QVGA)

カラーモード 画像の色調を設定します。 （※動画モードでは 使用できません。）	**ヴィヴィッドカラー**： 色が強調された鮮やかな色調 **ナチュラルカラー**： 見た目どおりの自然な色調 **シックカラー**： 色をおさえ、落ち着いた色調 **白黒**： **セピア**：
ライブビューヒストグラム ヒストグラムの表示／ 非表示を切り替えます。	**オフ**： ヒストグラムを表示します。 **オン**： ヒストグラムを表示しません。
フェイス検出撮影 人の顔に優先してピントを あわせます。	**オン**： 「プログラム（P）モード」と「人物撮影用のシーンモード」で 人物の顔を検出します。 **オフ**： フェイス検出を行いません。 （※スマートキャプチャーでは、常にフェイス検出が有効になります。）
測光方式 明るさを測る範囲を 設定します。 （※P、A、S、M モード、 パノラマモードのみ）	**マルチ測光**： 画面全体の明るさを測って、最適な露出設定をおこないます。 一般的な撮影に適しています。 **中央重点測光**： レンズの中央部分にある被写体の明るさを測ります。 **スポット測光**： 中央重点測光に似ていますが、さらに小さな領域を中心として 測定します。画面内の特定領域の露出を正確に設定する時に 使います。

オートフォーカス (フォーカス領域の設定) ピントを測る領域の広さを選択します。 (※P、A、S、M モード、パノラマモードのみ)	**マルチ AF**: 5つのゾーンのピントを測って中間的なピントを設定します。一般的な撮影に適しています。 **センターAF**: 画面の中央部分のピントを測ります。画面内の特定領域に正確にピントを合わせる必要があるときに使います。
AF コントロール(静止画) オートフォーカスの動作モードを設定します。 (※SCN、P、A、S、M モード、パノラマモードのみ)	**コンティニュアス AF**: カメラは常にピントを合わせ続けます。 **シングル AF**: シャッターを半押しするとオートフォーカスが動作します。
シャープネス 画像のシャープネスを設定します。 (※P、A、S、M モード、パノラマモードのみ)	**シャープ** **標準** **ソフト**

・[設定] メニュー で設定できる項目

LCD 輝度 液晶画面の明るさを調整します。	**5:(明るい) ～ 1:(暗い)** ※電池を節約するには暗めの設定を使用してください。
Share ボタン設定(※) Share ボタンの機能を設定します。	**お気に入りとアップロード** **お気に入りのみ** **アップロード** **(※日本国内では Kodak Gallery のサービスが行われていないため、この機能はご利用いただけません。)**
撮影フレームグリッド 撮影用の格子線を表示します。	**オフ** **オン**
タグの設定 分類に便利な「タグ」をカメラで設定します	**新しいタグ** **指定の取り消し** **タグの削除**
日付写し込み 日付を画面に写し込みます。	**オフ** **オン** ※いったん写し込まれた日付は、画像から消すことはできません。
赤目補正 目の瞳孔が赤く写る事を軽減します。	**プレ発光**: 目がフラッシュに慣れるように一度発光(プレ発光)し、撮影時にもう一度発光します。 **デジタル修正**: プレ発光はせず、赤目はデジタル補正されます。 (※まれに、目以外の赤いものを黒く補正してしまう事があります)

手ぶれ補正 光学手ぶれ補正の動作を設定します。	**連続**: 手ぶれ補正機能が連続して有効になります。 **シングル**: シャッターボタンを半押ししたときに手ぶれ補正機能が有効になります。 **オフ**: 手ぶれを補正しません。 **【注意】 三脚で撮影するときは、必ず手ぶれ補正をオフにしてください。**
クイックビュー 撮影直後にクイックビューが表示される時間を設定します。	**５秒（初期設定）** **１０秒** **オフ**
アドバンスドデジタルズーム 光学ズームに続いてデジタルズームを使用します。 ※スマートキャプチャーモードでは使用できません。	**連続**: 光学ズームとデジタルズームが連続して有効になります。 **一時停止**: 光学ズームの最高倍率でいったんズームを停止します。デジタルズームに移行するには、ズームレバーをいったん放してから、もう一度右（＋）に回します。 **オフ**: デジタルズームが無効になります。
縦横補正 縦位置で撮影された画像を90 度回転させて表示します。	**オン** **転送時オン** **オフ**
カメラ操作音 操作音のサウンドを選択します。	**フォーカスロック** **シャッター** **セルフタイマー** **エラー** **電源オン** ※それぞれの機能に個別のサウンドを設定できます。
音量 操作音の音量を調整します。	**高** **中** **低** **ミュート**

日付/時刻 日付と時刻を設定します。	日付と時刻を設定します。 (→ 10 ページ **「日付／時刻の設定をやりなおす」** を参照してください)
電源自動オフ 何も操作されていない状態でカメラの電源が切れるまでの時間を設定します。	**10 分** **5 分** **3 分(初期設定)** **1 分**
ビデオ出力 TV などの機器に接続した時のビデオ出力方式を選択します。	**NTSC**: 日本と北アメリカで使用される方式です。 **PAL**: ヨーロッパや中国で使用される方式です。
画像保管場所 画像を保存する場所を選択します。	**オート**: カメラに SD カードが装着されている場合は、SD カードに保存します。 **内蔵メモリー**: カメラに SD カードが装着されていても、内蔵メモリーに保存します。
言語	カメラの表示言語を選択します。
カメラのリセット	カメラの設定をすべてリセットします(画像は消えません)。
フォーマット(初期化)	**メモリーカード**: カードの内容をすべて削除し、カードをフォーマットします。 **内蔵メモリー**: 内蔵メモリーの内容をすべて削除し、内蔵メモリーをフォーマットします。 **※フォーマットを行うと、保護された画像を含むすべての画像が削除されます。** **フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損することがあります。**
カメラ情報	カメラのファームウェア情報を表示します。

5　画像の転送・プリント

画像をコンピュータに転送する

カメラで撮影した画像をコンピュータに転送することができます。

画像の転送には、いくつかの方法があります。

■付属のCDをインストールせずにカメラとコンピュータを直接接続する

付属の CD をコンピュータにインストールしなくても、コンピュータに標準で入っている機能で画像を転送することができます。 画像を転送するだけならば、この方法を推奨します。

コンピュータの OS に標準で入っている転送プログラム

・Windows XP　→　スキャナとカメラのウィザード
・Windows Vista　→　Windows フォトギャラリー
・Mac OS X：　→　iPhoto

1．　カメラの電源をオフにし、付属の USB ケーブルでコンピュータとカメラを接続します。
2．　カメラの電源をオンにします。
3．　コンピュータがカメラを認識するとプログラムが起動します。
　　画面の指示にしたがって、転送を行います。

※Windows、Mac OS に含まれるソフトウェアの操作等につきましては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。

■付属の「EasyShare ソフトウェア」をインストールして、カメラとコンピュータを直接接続する

この方法では、カメラを接続する前に、付属の CD から「EasyShare ソフトウェア」をコンピュータにインストールしておく必要があります。
インストールの前に、コンピュータの動作環境をよくご確認ください。

・EasyShare ソフトウェア Version 7.1 for Windows

対応 OS： Windows Vista／Windows XP
※Windows2000 以前にはインストールできません

・EasyShare ソフトウェア Version 6.1 for Macintosh

対応 OS： MacOS10.4 以降
※OS10.3 以前にはインストールできません

1. カメラの電源をオフにし、付属の USB ケーブルでカメラとコンピュータを接続します。
2. カメラの電源をオンにします。
3. コンピュータがカメラを認識すると、EasyShare ソフトウェアが自動的に起動します。
4. 画面の指示に従って、転送をおこないます。
（詳しくは EasyShare ソフトウェアを起動して、「ヘルプ」をご覧ください）

■市販の『USBカードリーダ』を使ってSDカードを読み取る

この方法では、OSの標準的なアプリケーションを利用して画像を転送することができます。
付属の「EasyShareソフトウェア」をインストールする必要はありません。

1. USBカードリーダをコンピュータに接続します。
2. カメラからSDカードを取り出し、カードリーダにセットします。
3. コンピュータ上に認識されたUSBカードリーダのアイコンをクリックし、SDカードを開きます。
   （→ Windowsでは、マイコンピュータの中の**「リムーバブルドライブ」**として認識されます）

※USB カードリーダの使用方法について、詳しくはカードリーダの各メーカー様に
お問い合わせください。

画像のプリント

■PictBridge 対応プリンターでプリントする

このカメラは、PictBridge（ピクトブリッジ）規格に対応しています。
各社の PictBridge 対応プリンターに接続して、直接プリントすることができます。

以下をご確認ください：

・バッテリー容量が十分に残っていることを確認してください
・お手持ちのプリンターが PictBridge に対応しているか確認してください
・付属の USB ケーブルをご用意ください
（プリンター側の仕様によっては、別売りのケーブルが必要になることがあります）

■PictBridge 対応プリンターとの接続

1. カメラとプリンターの電源をオフにします。
2. カメラに付属している USB ケーブルでカメラとプリンターを接続します。

■PictBridge 対応プリンターでのプリント

1. 先にプリンターの電源をオンにし、その後カメラの電源をオンにします。
   PictBridge のロゴマークが表示され、続いて現在の画像とメニューが表示されます。

2. 十字ボタンの 上・下 でプリントのオプションを選択し、OK ボタンを押します。

   ・**画像保管場所**： プリントしたい画像の保管場所を指定します。
   ・**現在の画像**： 十字ボタンの 左・右 でプリントしたい画像を選び、上・下のボタンで枚数を設定します。
   ・**すべての画像**： 内蔵メモリーや SD カードまたはお気に入りの全画像をプリントします。

3. OK ボタンを押し、プリント枚数を確認し、さらに OK ボタンを押すとプリントが始まります。
（※操作画面は、接続するプリンターの仕様によっても異なります）

■プリンターとの接続を取り外す

1. カメラとプリンターの電源をオフにします。
2. カメラとプリンターから USB ケーブルを取り外します。

プリント指定（PictBridge）

■カメラ本体でプリント枚数を指定する

**カメラ本体で、あらかじめプリントしたい枚数を設定しておくことができます。
人数分をまとめてプリントするとき等に便利です。**

1. レビューボタン を押します。
2. メニューボタン を押し、十字ボタンの上・下で ［**プリント指定**］ を選択し、OK ボタンを押します。
3. 十字ボタンの 上・下 でプリント枚数（0～99 枚）を設定し、OK ボタンを押します。
4. 十字ボタンの 左・右 で、前／次の画像に移動します。
5. 3～4の手順を繰り返し、各コマにプリント枚数を入力します。
6. シャッターを軽く半押しすると、撮影モードに戻ります。
7. コマごとの指定プリント枚数は、レビューモード で確認できます。
   画面の上にプリント指定アイコン とプリント枚数が表示されます。

■すべての画像を同じ枚数プリントする

すべての画像に同じプリント枚数を指定します。

1. レビューボタン を押します。
2. メニューボタン を押し、
3. 十字ボタンの 上・下 で ［**すべて選択**］ を選択し、
   さらに、上・下ボタンで ［**プリント指定（選択画像）**］ を選択し、OK ボタンを押します。
4. 上下ボタンでプリント枚数（0～99 枚）を設定し、OK ボタンを押します。
5. 入力したプリント枚数は、すべてのコマに設定されています。

※指定した枚数のプリントが終了するまで、プリント指定情報は保持されます。

■プリント枚数の指定を取り消す

すべてのプリント枚数指定を取り消します。

1. レビューボタン [▶] を押します。
2. メニューボタン [☰] を押し、十字ボタンの 上・下 で [**プリント指定取消**]を選択し、OK ボタンを押します。
3. **「全画像のプリント指定を取り消しますか？」** と確認のコメントが出ます。
   十字ボタンで **「はい」** を選択し、OK ボタンを押します。

6 トラブルシューティング（こんなときは？）

「故障かな？」と思ったときは、以下の項目をご確認ください。

カメラの動作について

現象	解決方法（以下のいずれかの方法をお試しください）
電源が入らない	・電池を取り外し、しばらく経ってから正しく装着しなおしてください。 ・電池の向きを確認してください （→7 ページを参照）。 ・新しい電池に交換してください。
電源をオフにできない 操作ができない	・電池を取り外し、しばらく経ってから正しく装着しなおしてください。
残り枚数表示が 減らない	・故障ではありません。 ・大容量のメモリーカードで撮影可能枚数にじゅうぶんな余裕のあるときは、 しばらく枚数表示が減らないことがあります。
フラッシュが発光しない	・フラッシュ設定がオフになっていないか確認してください （→17 ページを参照）。 ・発光しない撮影モード、シーンモードもあります。
寿命（撮影枚数） が短い	・液晶モニターを長時間使用したり、フラッシュ撮影をひんぱんに行うと、 電池が激しく消耗することがあります。 ・充電式電池は性質上、数年で性能が劣化します。正しく充電しても 性能が回復しない時は、新しい電池をお求めください。
画像が明るすぎる	・プラス側の露出補正が入っている → 露出補正値を元に戻してください。 ・フラッシュに近すぎる → 被写体から少し離れてください。
画像が暗すぎる	・夕方～夜もしくは室内では、フラッシュを使用してください。 ・逆光ではフラッシュが発光しないことがあります。強制発光モードで撮影して ください。 ・フラッシュと被写体の距離が遠い → 被写体に近づいてください。 ・マイナス側の露出補正が入っている → 露出補正値を元に戻してください。

画像が鮮明でない	・レンズが汚れている → レンズ表面を柔らかい布でやさしく拭いてください。 ・被写体との距離が近すぎてピントが合っていない → 被写体から離れてください。 ・被写体から離れている時は、マクロモードになっていないか確認してください。
カメラのリセット機能が有効にならない	・カメラのリセットしたあとは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度オンにしてください。
カードの抜き差しでフリーズした	・電池を取り外し、しばらく経ってから正しく電池を入れなおし、カメラが起動したことを確認してからカードを装着しなおしてください。 ・カードの抜き差しは、必ずカメラの電源をオフにしてから行ってください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	解決方法（以下のいずれかの方法をお試しください）
表示可能な画像または動画がありません。	・画像保管場所の設定（カード／内蔵メモリー）を確認してください。
メモリーカードをフォーマットする必要があります。	・カードを取り出し、カードの金属接点に汚れなどがないか確認してください。汚れを柔らかい布等でふき取ってから、もう一度しっかりカメラに差し込んでください。 ・それでも改善しない場合は、カードをフォーマットしてください。 **※フォーマット（初期化）を行うと、保護された画像を含むすべての画像や設定が削除されます。**
内蔵メモリーをフォーマットする必要があります。 **内蔵メモリーが読めません。**	・内蔵メモリーをフォーマットしてください。 **※フォーマット（初期化）を行うと、保護された画像を含むすべての画像や設定が削除されます。**
メモリーカードが入っていません。	・SD/SDHC カードを正しく装着してください。
空き容量が足りません（コピーできませんでした）。	・画像をコンピュータに転送して保存するか、カメラで不要な画像を削除してください。 ・新しいカードに交換してください。
このメモリーカードはプロテクトされています。	・カードのプロテクト（書込み保護）スイッチが「LOCK」になっていないか確認してください。
このメモリーカードは使用できません。	･カードがカメラに対応していないか、壊れている可能性があります。別のカードに交換してみてください。
日付・時刻がリセットされています。	・日付／時刻を再設定してください （→10 ページを参照）。
異常高温を検出しました（自動的にオフになります）。	カメラの電源をオフにして 10 分以上放置し、その後電源をオンにします。
読み込めない画像ファイルです。	・そのファイルが変更されたか、壊れている可能性があります。

カメラエラー No.XXXX	・電池とカードを取り出し、1 時間程度置いてから再度電池を入れます。 ・カメラが正常に起動したら、いったん電源をオフにしてカードを装着した後もう一度電源をオンにしてください。 ・エラーが消えない場合は、コダックお客様相談センターにお問い合わせください。

7　サポート情報

コダック　コンシューマーデジタル製品に関するお問い合わせ、製品に関するサポート情報・修理等につきましては、ご購入の販売店様、または以下の窓口までお尋ねください。

■製品に関するお問い合わせ先
加賀ハイテック株式会社　コダックお客様相談センター
営業時間　9:30～17:30　（土日祝・年末年始を除く）
TEL:　03-5540-9002

その他、製品の各種情報はコダックホームページ（www.kodak.co.jp）からご覧いただけます。

＜コダック コンシューマーデジタル製品の海外での保証＞

コダック コンシューマーデジタル製品の保証は、購入された国内に限られます。
日本でご購入の製品の保証は、日本国内でのみ有効です。

また、その保証範囲はそれぞれの国によって異なる場合があります。
日本国内でご購入の製品について海外でサポートを受ける場合は、各国の
コダックカスタマーサポートに直接お問い合わせください。

■世界各国の Kodak カスタマーサポート窓口

アイルランド	01 407 3054	ノルウェー	23 16 21 33
イタリア	02 696 33452	ハンガリー	06 80 456 325
インド	91 80 41374555 (フリーダイヤル: 000800 440 1227)	フィリピン	1 800 1 888 9600
オーストラリア	1800 267 588	フィンランド	0800 1 17056
オーストリア	0179 567 357	ブラジル	0800 891 42 13
オランダ	020 346 9372	フランス	01 55 1740 77
カナダ	1 800 465 6325	ベルギー	02 713 14 45
ギリシア	00800 44140775	ポーランド	00800 4411625
シンガポール	800 6363 036	ポルトガル	021 415 4125
スイス	044 838 53 51	ロシア	8 495 929 9166
スウェーデン	08 587 704 21	韓国	080 708 5600
スペイン	91 749 76 53	米国	1 800 235 6325
スロバキア	00 800 56325000	日本	03 5540 9002
タイ	001 800 631 0017	台湾	0800 096 868
チェコ共和国	00 800 56325000	香港	800 901 514
デンマーク	3 848 71 30	英国	0870 243 0270
ドイツ	069 5007 0035	中国	800 820 6027
トルコ	00800 448827073	国際有料ファックス番号	+44 131 458 6962
ニュージーランド	0800 880 120	国際有料電話番号	+44 131 458 6714

8 付 録

カメラの仕様

画像センサー: 1/2.3 インチ （縦横 4:3）
カメラ有効画素数: 3672 x 2748 （10.1MP）

記録画素数:
10.0MP(4:3): 3648 x 2736 ピクセル
8.9MP(3:2): 3648 x 2432 ピクセル
7.5MP(16:9): 3648 x 2048 ピクセル
5.0MP(4:3): 2592 x 1936 ピクセル
3.1MP(4:3): 2048 x 1536 ピクセル
2.2MP(3:2): 1824 x 1216 ピクセル
2.1MP(16:9): 1920 x 1088 ピクセル
1.2MP(4:3): 1280 x 960 ピクセル

手ぶれ補正: 光学式
連写モード: 毎秒 1.5 コマでの最大画像枚数: 3 枚
（最初のコマで自動露出、オートフォーカス、オートホワイトバランスを実行）

液晶モニター: 2.5 インチ カラーハイブリッド液晶モニター
23 万画素（960 x 240）、25 フレーム／秒
レンズ: 光学 10 倍ズームレンズ、35～350 mm（35 mm フィルムカメラ換算）、f/3.5～f/4.8
レンズカバー: 自動内蔵式
デジタルズーム: 5.0 倍連続 光学・デジタルズームを組み合わせた場合 最高 50 倍
（※スマートキャプチャーモード、動画モードでは使用不可）
シャッター速度: スマートキャプチャーモード: 1/8～1/1250 秒 （自動設定）
シャッター優先、マニュアルモード: 16～1/1000 秒 （マニュアル設定）

画像保管場所: SD/SDHC カード(別売) (SD ロゴは、SD Card Association の商標です)。
内蔵メモリー: 32 MB (画像保管場所としては 13.5 MB 使用可能。 1 MB を 100 万バイトとして換算)

ISO 感度: オート、100、200、400、800、1600
測光方式: TTL-AE (マルチ測光、中央重点測光、スポット測光)
露出補正: ±2.0 EV (1/3 EV ステップ)
測光ブラケティング: 3 枚撮影 (±0.3 EV、±0.7 EV、±1.0EV の変化幅を選択可能)

ホワイトバランス: オート、昼光、白熱灯、蛍光灯、晴天日陰
フォーカスシステム: TTL-AF (マルチ AF、センターAF)

撮影距離:
0.5 m〜無限遠 (広角)
1.2 m〜無限遠 (望遠)
12〜60 cm (広角・マクロ)
0.6〜1.3 m (望遠・マクロ)

フラッシュ: ガイドナンバー 9.5(ISO 100)、 有効範囲 5.4 m(広角)/ 3.9 m(望遠)
(※スマートキャプチャーモード、赤目軽減発光オフの場合)
フラッシュモード: オート発光、強制発光、赤目軽減発光、オフ

撮影モード: スマートキャプチャー(オート)、スポーツ、SCN(シーン)モード、プログラム、絞り優先、シャッター優先、マニュアル、パノラマ、動画
シャッターモード: 1 ショット、連写(最高 3 枚)、セルフタイマー(10 秒、2 ショット、2 秒)
連写モード: 最高 3 枚 (1.5 コマ/秒)
(最初のコマで自動露出、オートフォーカス、オートホワイトバランスをロック)

ファイルフォーマット: 静止画: JPEG/EXIF 2.21
動画: QuickTime、Motion JPEG、 オーディオ: G.711
カラーモード: ヴィヴィッドカラー、ナチュラルカラー、シックカラー、白黒、セピア
シャープネス: シャープ、標準、ソフト

動画サイズ： VGA（640 x 480） 30 フレーム／秒、
QVGA（320 x 240） 30 フレーム／秒

TV 出力： NTSC／PAL（選択式）
電源： 単三形アルカリ電池、単三形リチウム電池、単三形ニッケル水素充電池

マイクロフォン： あり
スピーカー： あり
コンピュータとの通信： USB 2.0 （USB ケーブル（モデル U-8）経由の PIMA 15740 プロトコル）
PICTBRIDGE 互換性： あり

電源自動オフ： 1 分、3 分、5 分、10 分から選択可能
音声メモ： あり
日付写し込み： あり
三脚ねじ穴： 1/4 インチ

サイズ： 107 x 72.4 x 35.7 mm（電源オフの場合）
重さ： 220 g（電池およびカードを含まず）
動作温度： 0～40℃

電池寿命について

KODAK 単三形 MAX アルカリ電池： 約 150 枚
KODAKニッケル水素充電式デジタルカメラ電池： 約280枚
（スマートキャプチャモードで128MBのSDカードを使用して撮影した場合）

※ CIPA規格に準じた測定条件による目安です。
※ 実際の電池寿命は、使用状況等によって異なります。

■電池を長持ちさせる

・液晶画面の明るさを調整してください（→43ページ 「カメラのカスタマイズ」を参照）。
・電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。
電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。

・気温が5度以下になると電池の効率が悪くなります。 低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。 冷たくなって使用できなくなった電池は捨てないでください。
室温に戻せば再び使用できる場合があります。

お手入れとメンテナンス

- 荒天時などでカメラ内部に水が入った場合は、カメラの電源をオフにし、電池とカードを取り出してください。
- レンズまたは液晶モニターの埃や塵を起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ペーパー等でそっと拭きます。クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。
- デジタルカメラの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体に問い合わせてください。

米国内の場合は、Electronics Industry Alliance のWeb サイト（www.eiae.org）またはKodakのWebサイト（www.kodak.com/go/m753support またはwww.kodak.com/go/m853support）を参照してください。

ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

Kodak EasyShare ソフトウェアCD に添付されているソフトウェアと、カメラのファームウェア（カメラ上で実行されているシステムプログラム）の最新バージョンがリリースされた場合は、コダックのホームページ（www.kodak.co.jp） からダウンロードすることができます。

安全に関する重要事項

本製品は分解しないでください。製品内部にお客様が修理可能な部品はありません。
修理については、事前にコダックお客様相談センターにお問い合わせください。本製品を液体・湿気・極度の高温／低温にさらさないでください。Kodak AC アダプターおよび充電器は、必ず屋内で使用してください。本ユーザーガイドで指定されている以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を招く恐れがあります。液晶モニターが破損した場合は、ガラスや液体に触れないでください。

限定保証

Kodak は、Kodak 一般向け電子製品およびアクセサリー（以下「製品」。電池を除く）が購入日から一年間、素材および製造上に起因する不具合があった場合、無償修理を行うことを保証します。
購入日が明記された保証書、または領収書の原本は必ず保管しておいてください。保証期間内の修理には、購入日および購入店舗の証明が必要になります。これは通信販売等でご購入の場合でも同様です。

■限定保証の対象

保証サービスは、製品を最初に購入した国においてのみ有効です。製品を購入した国内の認定サービス業者に製品を配送する必要がある場合、その費用はお客様の負担となります。保証期間中に製品が正しく機能しない場合は、ここに記載した条件および制限付きで、それらを修理または交換いたします。保証サービスには、必要な調整や交換部品に加え、労務費のすべてが含まれます。Kodak が製品を修理または交換できない場合は、Kodak の判断において、製品の購入価格を返金します。この場合、製品の返品とともにお客様が支払った購入価格の証明が必要になります。修理・交換、または購入価格の返金が唯一の保証手段となります。修理に交換部品を使用する場合、それらの部品は再生品であったり、再製造された部品が含まれている可能性があります。製品全体を交換する必要のある場合は、再生品と交換する可能性もあります。

再生品・部品、および材料の保証期間は、元の製品の保証期間の残存期間、または修理日あるいは交換日から90日間のいずれか長い方とします。

■制限

Kodak の管理の及ばない状況で発生した問題は、この保証の対象外となります。出荷による損傷・事故・改造・変更・認可されていない修理・誤用・乱用や、互換性のないアクセサリーや機器（サードパーティ製のインク、インクタンクなど）と併用した場合、Kodak の操作・保守・開梱の指示に従わなかった場合、またはKodak 提供の製品（アダプターやケーブル）を使用しなかった場合に生じた故障には、この保証は適用されません。

Kodak は、本製品に対してこれ以外の明示的または黙示的な保証を行いません。

また、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的な保証も放棄します。法律によって黙示的な保証の除外が無効とされる場合、黙示保証の期間は、購入日から一年間または法律によって要求される期間とします。Kodak が負う唯一の責務は、修理・交換・または返金です。Kodak は、原因にかかわらず、本製品の販売、購入、または使用から生じた特別、必然的または偶発的な損害に対しては一切責任を負いません。特別、必然的、または偶発的な損害（製品の購入・使用・故障のために発生した場合の収入または利益の損失、ダウンタイムの費用、機器が使用できないための損害・代替機器の費用・設備やサービス・顧客のクレームなどを含みますが、この限りではありません）に対する責任は、原因や書面または黙示的な保証の違反にかかわらず、明示的に否認します。

規格との適合

■FCC準拠および勧告

この装置はテストの結果、FCC 規制パート15 によるクラスB デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。
この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。
この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は(装置をオフ／オンにして調べます)、次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。1)受信アンテナの方向や位置を変える、2)装置と受信機の距離を離す、3)受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する、4)ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する。
準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される
付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

■カナダ通信局声明文

DOC Class B Compliance – This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Observation des normes-Classe B – Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

■廃電気電子機器に関するラベル

EU (欧州連合)諸国では、本製品を無分別の都市ゴミとして廃棄しないでください。
リサイクルプログラムに関する情報については、最寄りの自治体に問い合わせるか、
www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

■オーストラリアC-Tickマーク

■VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■韓国Class B ITE

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

■ロシア GOST-R

Eastman Kodak Company
Rochester, NY 14650
Фотокамера изготовлена в Китае; остальные элементы - в соответствии с маркировкой.

AIO-40

■中国RoHS

环保使用期限 (EPUP)

在中国大陆，该值表示产品中存在的任何危险物质不得释放，以免危及人身健康、财产或环境的时间期限（以年计）。该值根据操作说明中所规定的产品正常使用而定。

有毒有害物质或元素名称及含量标识表						
部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
数码相机电路板元件	×	○	○	○	○	○
锂电池	×	○	○	○	○	○
交流变压器	×	○	○	○	○	○
○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求以下。						
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006规定的限量要求。						

USB 数据线

■MPEG-4

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650